

令和5年度 大阪府立生野支援学校 第3回学校運営協議会 議事録

日 時	令和6年2月26日(月) 10:00~11:30	
場 所	大阪府立生野支援学校 図書館	
出席者	委員	多田 龍弘、塩田 武史、閑喜 美史、永井 隆、半田 工、良川 秀子
	学 校	国津 賢三(校長)、大巻 雅彦(教頭)
		森 大介(首席)、岩城 智也(首席)、古本 景将(首席) 菱沼 恵理(小学部主事)、奥谷 美帆(高等部主事)
	傍聴人	小林 知子、岡本 康子
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校長あいさつ 2. 令和5年度 学校教育自己診断についての報告 3. 令和6年度 学校経営計画及び学校評価 	
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校長あいさつ 新型コロナウイルス感染症の「5類」移行を受けて、徐々に以前のような学校活動に戻ってきている。一方で、現在はインフルエンザが流行している時期なので、感染予防対策はじめ、児童生徒の健康面の指導を行っていることを報告した。 2. 令和5年度 学校教育自己診断についての結果考察 学校教育自己診断に関して、昨年度提出率の悪かった教職員アンケートのQRコード化など、提出率向上の工夫を説明した。委員より「情報管理」と「施設設備」に関する質問が挙がった。「情報管理」の回答として、否定的評価の割合が高かったことを受けて、本校での情報機器の管理体制やセキュリティ研修などの取り組みに関する説明を行った。「施設設備」では校舎移転も見据えつつ、危険防止など必要な整備に取り組んでいることを説明した。また施設設備の整頓ということから、防災に関する話題になり、先日開かれた生野区の防災に関する座談会での討議内容や本校のいくの防災デーに関する取り組みなどの意見交換がなされた。 3. 令和6年度 学校経営計画及び学校評価 「めざす学校像」「中期目標」ともに今年度と同じ内容に継続して取り組むことで承認を得た。 4. その他 防災については、【減災】という視点で子どもに教育することの重要性や、地元との連携を継続して防災にあたる体制作りの大切さ。ICT機器の活用については、その充実に向けたセキュリティ意識の向上。働き方改革では、教員の本分・やりがいである子どもとの関わりにかける時間とのバランス調整が大切ではないかという提言をそれぞれ受けた。 	
協議資料	令和5年度「学校教育自己診断」、令和5年度「学校経営計画」、令和6年度「学校経営計画」	
備 考	学校見学	